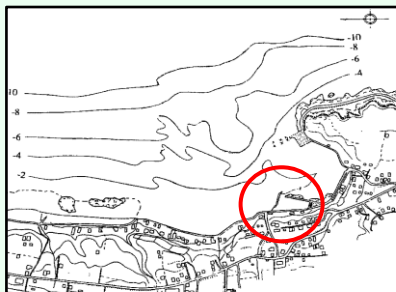


# 泊湊の歴史

19世紀			20世紀				21世紀																
明治 3年 150年前			大正 9年 100年前				昭和 45年 50年前		平成 2年 30年前														
江戸	明治	大正	昭和				平成	令和															
1744年 「鮑(アワビ)七戸泊湊を上品とす」	1756年 魚粕の原料魚のイワシ漁が始まる	1770年 泊港は東風の時、船を出せなかった	1833年 泊スルメイカ漁が始まる	1892年 泊漁業組合が設立	1895年 県主催「イカ釣り技術伝習」開催	1932年 国による漁港や船溜施設の整備	1936年 イワシ流網漁業やマグロ延縄漁、イカ釣り漁業が行われる	1938年 泊に初めて発電機が導入される	1949年 泊漁業協同組合が誕生。組合長は種市忠七、組合員正492人	1949年 県の泊漁港整備工事が始まる	1950年 500Wの白熱灯が4個付けられる	1958年 ドラム巻き式の漁具が導入される	1959年 「冷蔵庫」を建設。総工費215万円	1960年 生イカ販売とスルメ製品のダンボール箱詰め出荷を開始	1965年 高潮来襲。漁船の流失・損壊60隻、住家の全壊51棟、大被害を受ける	1967年 防波堤、鮮魚荷捌所や短波漁業無線局、給油所が完成	1968年 全自動イカ釣り機が登場。労働不足を補い、漁業操業形態が一変	1969年 焼山と泊漁港が第4種漁港(避難港)に指定	1973年 製品スルメから生スルメイカ販売へ。家族総出スルメづくり風景が消えた	1981年 アワビ種苗供給センター完成	1982年 泊地区漁民研修センター完成	2002年 は、沖防波堤を新設	2018年 県は、沖防波堤新設、護岸・岸壁新設、船揚場・新荷捌施設新設、製水・貯水施設完成、焼山大橋新設。泊漁港で



ハネゴによるイカ漁(「県漁具史」より引用)



1968(昭和43)年の焼山



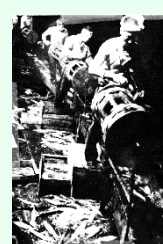
2009(平成19)年の焼山港



丸木舟でのアワビ漁と磯漁  
1960年代



波がおさまるのを待つ船  
イカ釣り  
1960年代



漁業組合と荷捌施設



イカ釣り漁船